

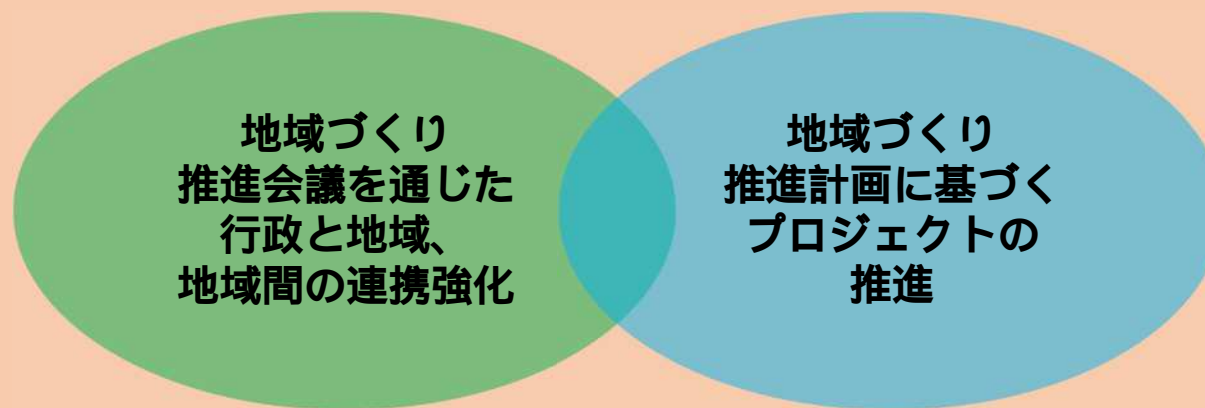
推進計画 策定後の体制

推進計画策定後の動き (モデル地区での例を参考に)

みなみ野中学校区地域づくり推進計画

令和5年度 (2023年度)

令和6年度 (2024年度)



推進計画策定後の動き (モデル地区での例を参考に)

みなみ野中学校区地域づくり推進計画

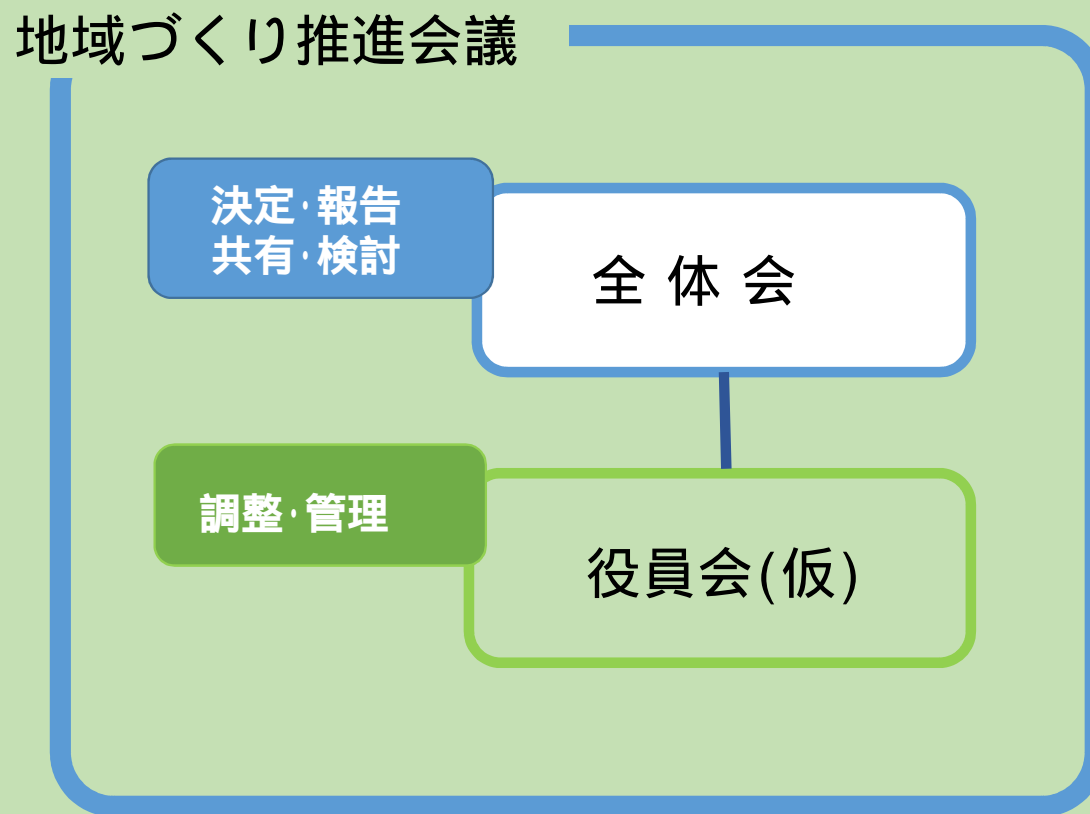
令和5年度 (2023年度)

令和6年度 (2024年度)

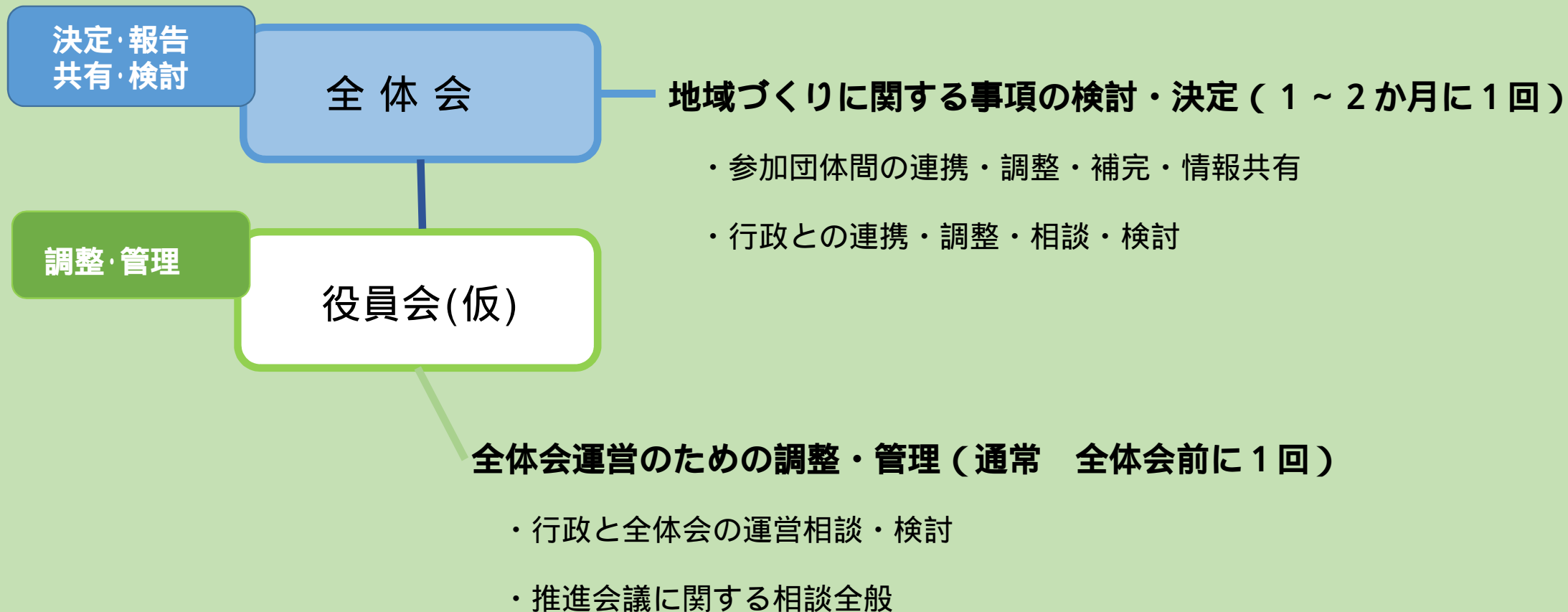
地域づくり
推進会議を通じた
行政と地域、
地域間の連携強化

地域づくり
推進計画に基づく
プロジェクトの
推進

推進計画策定後の推進体制について(モデル地区での例を参考に)



推進計画策定後の推進体制について(モデル地区での例を参考に)



推進計画策定後の体制について(モデル地区での例を参考に)

みなみ野中学校区地域づくり推進計画

令和5年度(2023年度)

令和6年度(2024年度)

地域づくり
推進会議を通じた
行政と地域、
地域間の連携強化

地域づくり
推進計画に基づく
プロジェクトの
推進

プロジェクト推進のための体制について(モデル地区での例を参考に)

【モデル地区での検討状況】

推 進 会 議

活 動 組 織

活動組織？

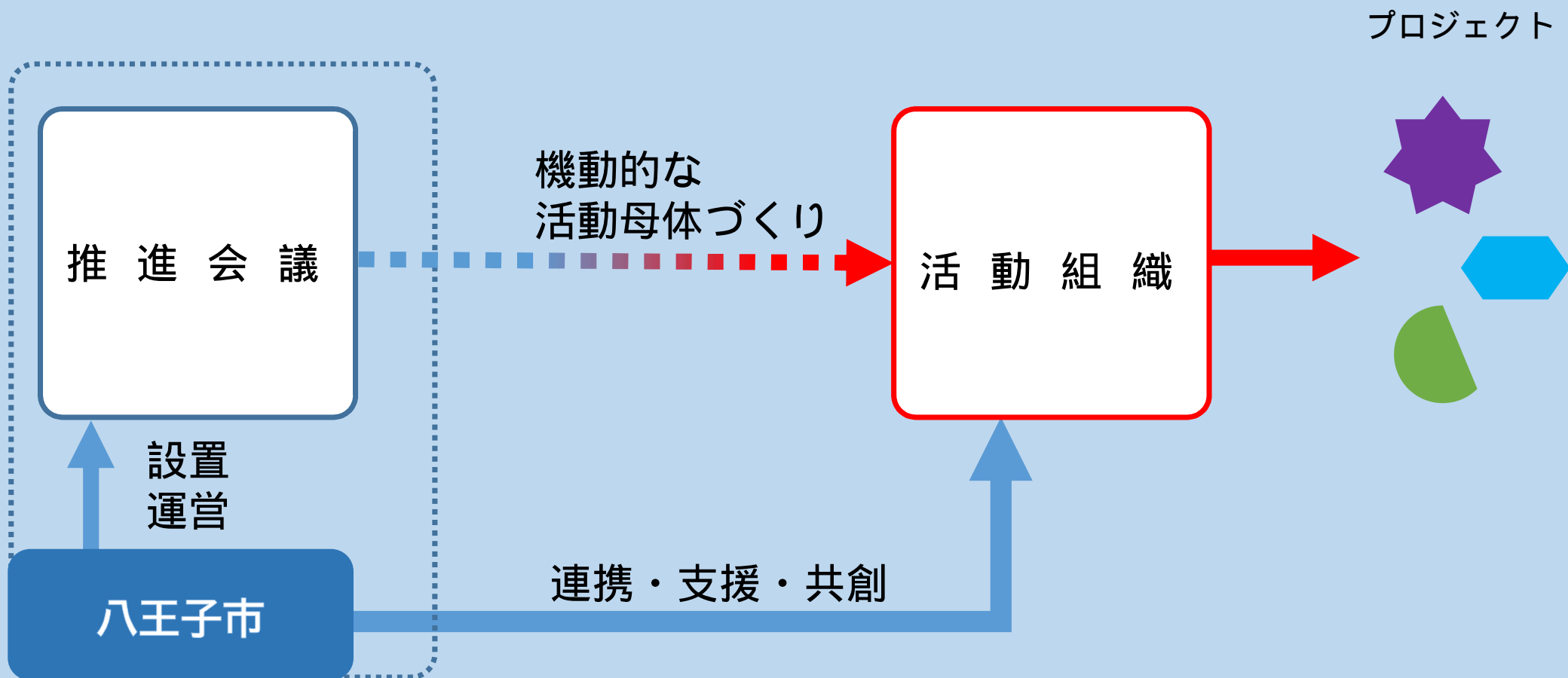
推進会議と活動組織を分ける

なぜ？

- ・活動しやすさ
機動力・負担少なく
- ・自立組織
補助金

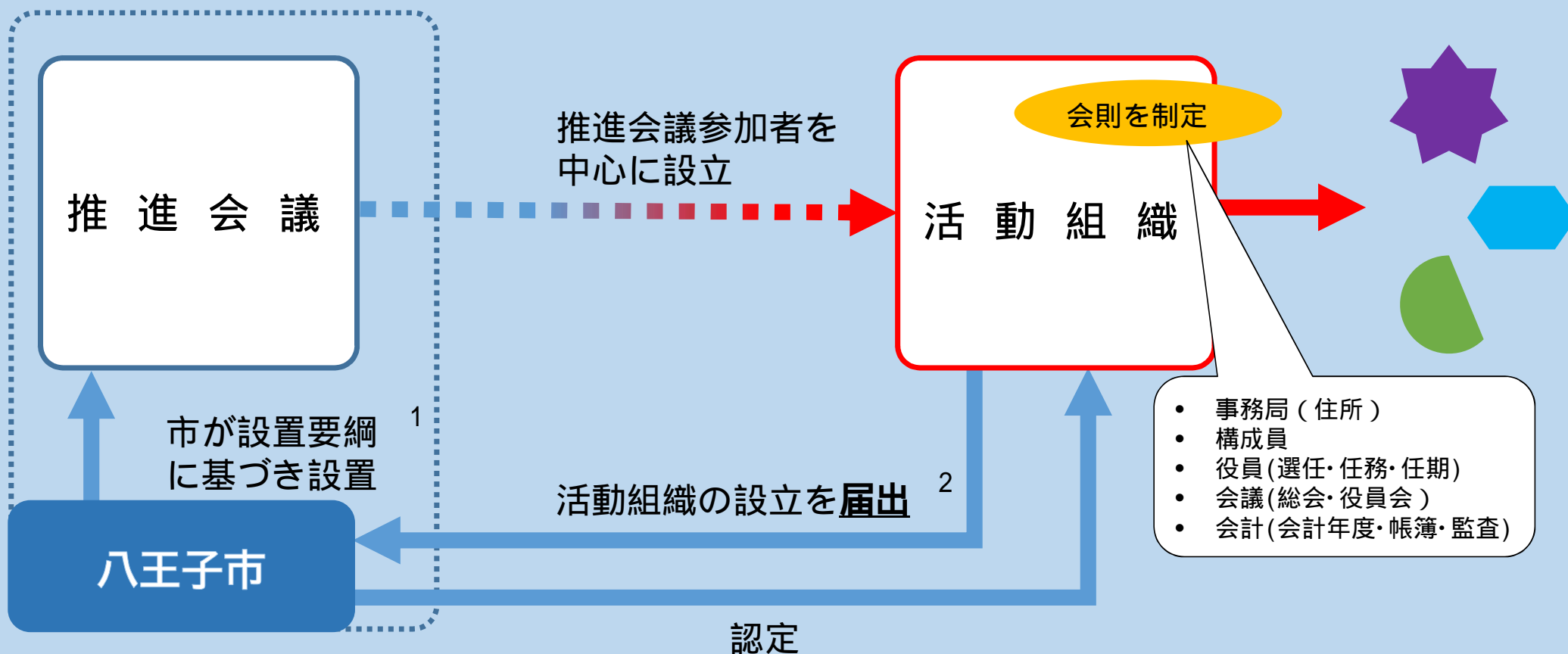
どんな組織が活動しやすい？

プロジェクト推進のための体制について(モデル地区での例を参考に)



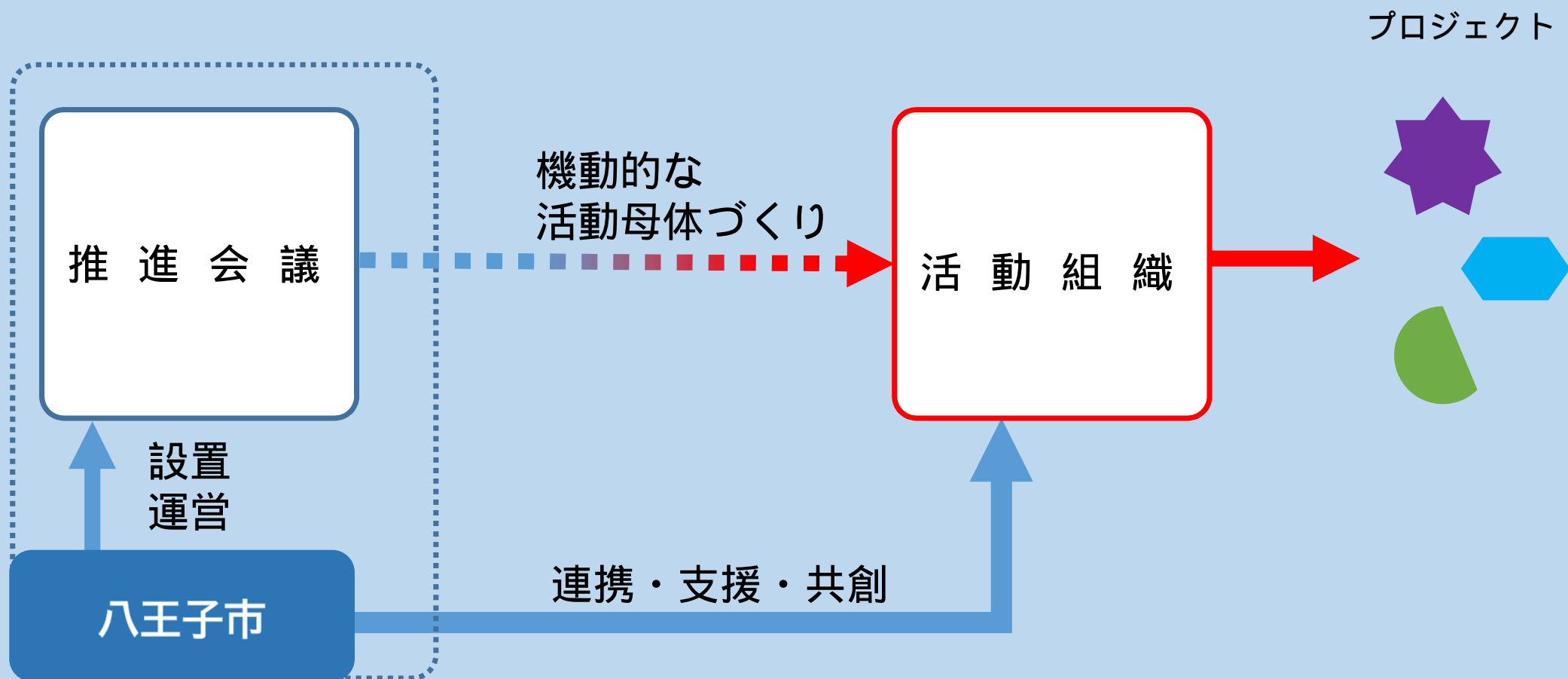
プロジェクト推進のための体制について(モデル地区での例を参考に)

プロジェクト



- 1 地域づくり推進会議モデル試行実施要綱
- 2 設立の届出に関する要綱(今後新設)

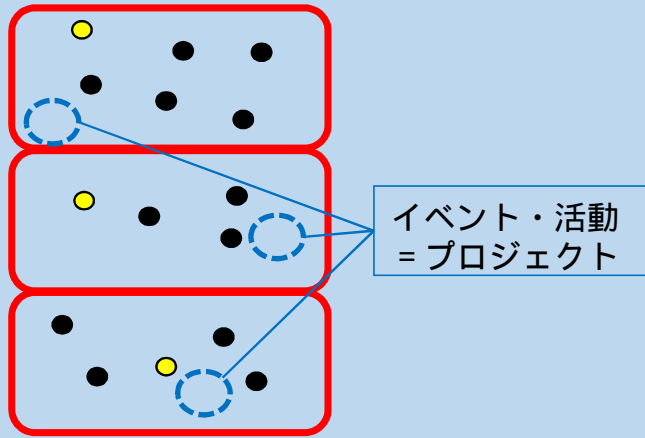
プロジェクト推進のための体制について



活動組織を作ってプロジェクトを実行していくことを推進計画に掲載して良い？

活動組織の例(パターン)

パターンA



プロジェクトごとに活動組織を作り、プロジェクトを進める

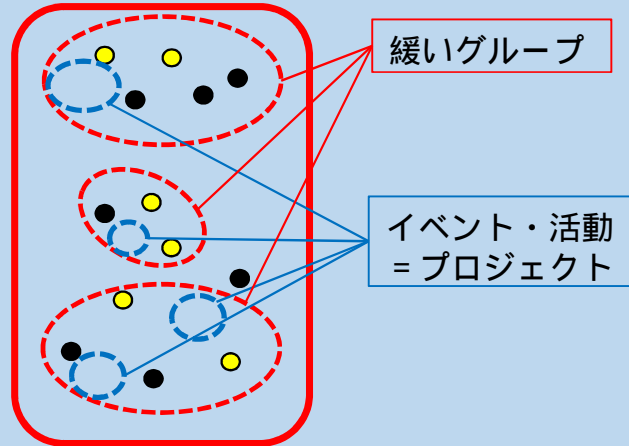
メリット

- 役割がはっきりとが分かれている。

デメリット

- 組織のルール(会則)が3つ必要。
- 組織ごとに代表が必要。
- 柔軟な活動がしにくいかも。

パターンB



一つの組織内でグループ(役割分け)を作り、プロジェクトを進める

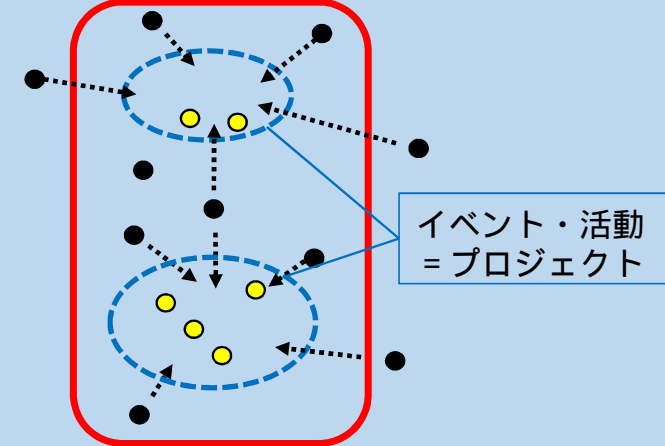
メリット

- 緩やかながら役割が分かれている。
- 組織のルール(会則)は1つでいい。

デメリット

- 一部の人に負担が寄りがちになる可能性。
- イベントを行う際の仕切りが大変そう。

パターンC



プロジェクトごとに中心となる人(コアメンバー 担当者)を決め、組織内外から参加者・協力者を集いプロジェクトを進める

メリット

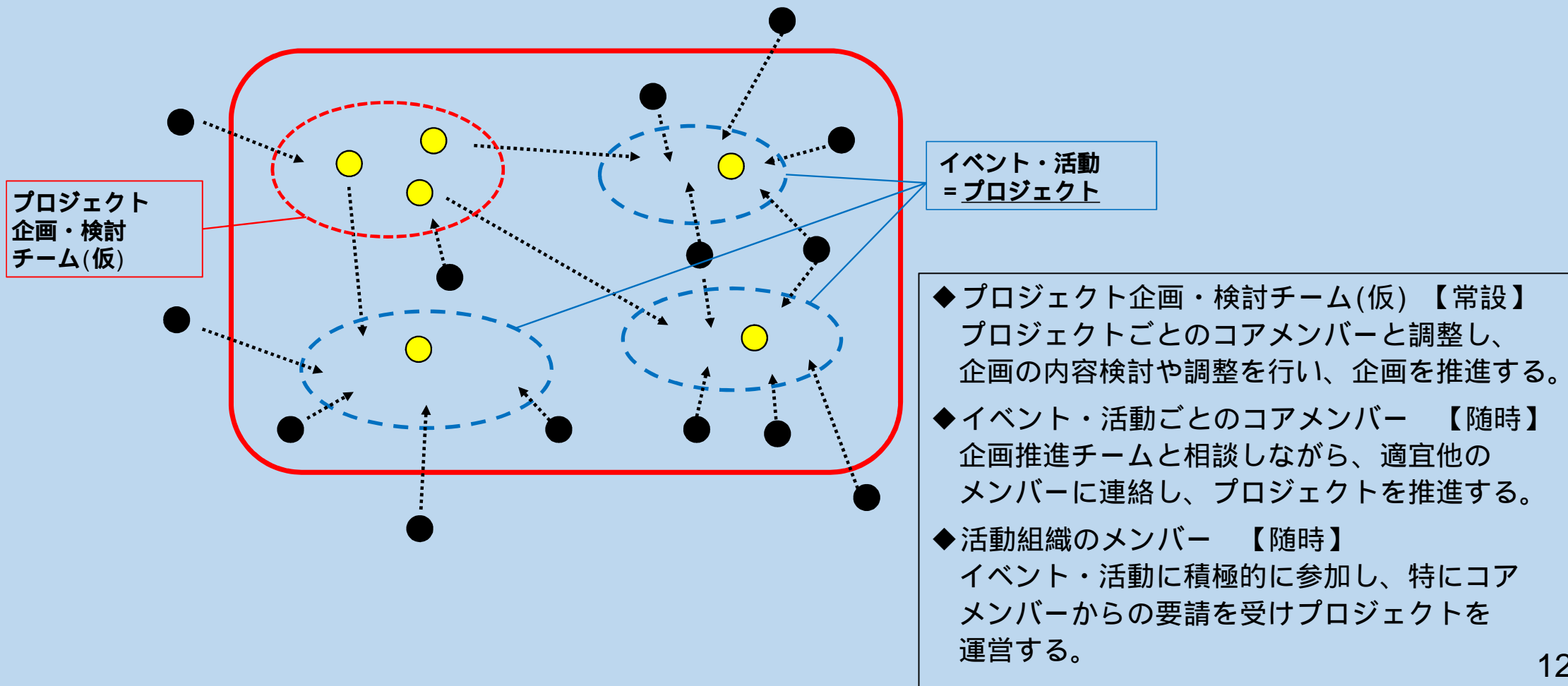
- 機動的な活動がしやすい。
- 活動に参加するときの負担感が少ない?
- 組織のルール(会則)は1つでいい。

デメリット

- やる気次第で活動が減っていく可能性?

長房地区でのアクションプラン推進のために検討中の活動組織

活動組織のイメージ図（案）



アクションプランの進捗管理・進め方

ほとほと作戦

義務感・やらされ感 < 達成感・楽しむ

⇒プロジェクトのストーリーを共有しながら、

「楽しい」「やってよかった」と感じられる内容を

考えながら進める

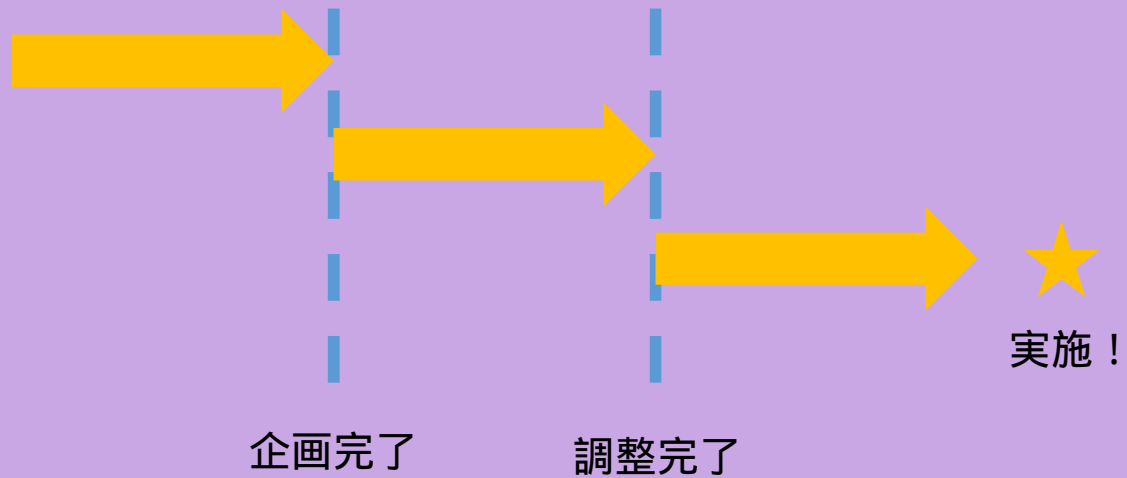
誰かが頑張る < みんなで無理なく関わる

⇒活動組織の体制の工夫 (次回以降?)

無理せず、無理なく プロジェクトを進めていく

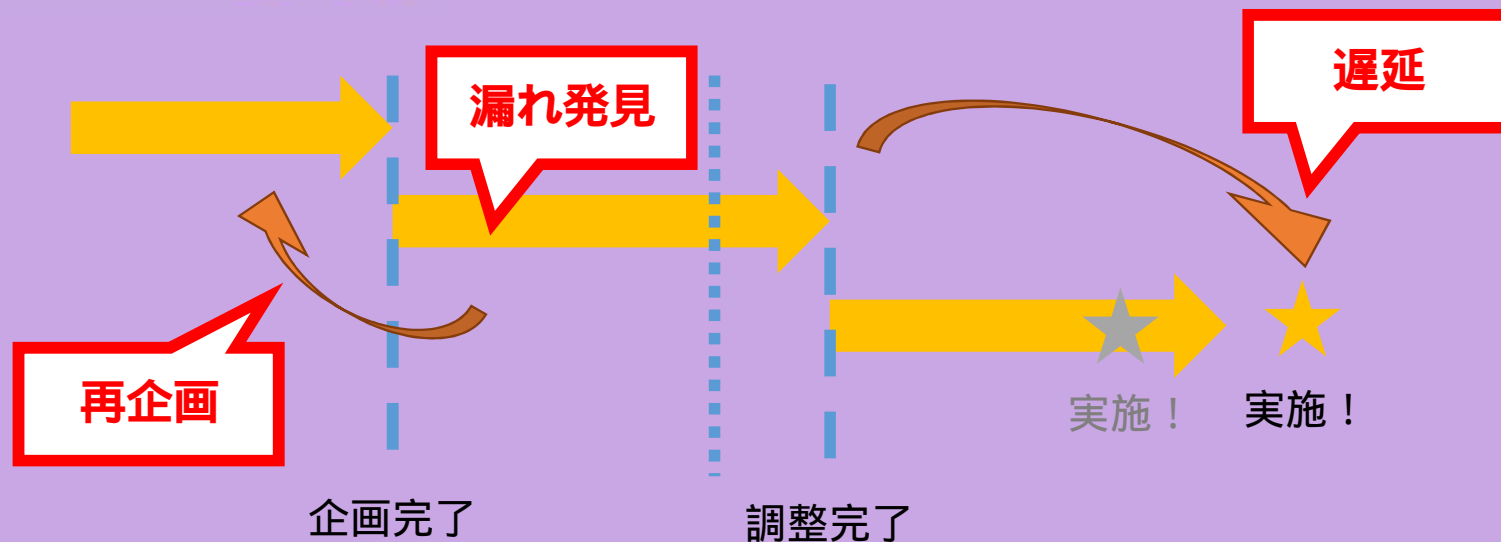
ほぼほぼ作戦

アクションプランの進行管理



ほぼほぼ作戦

アクションプランの進行管理

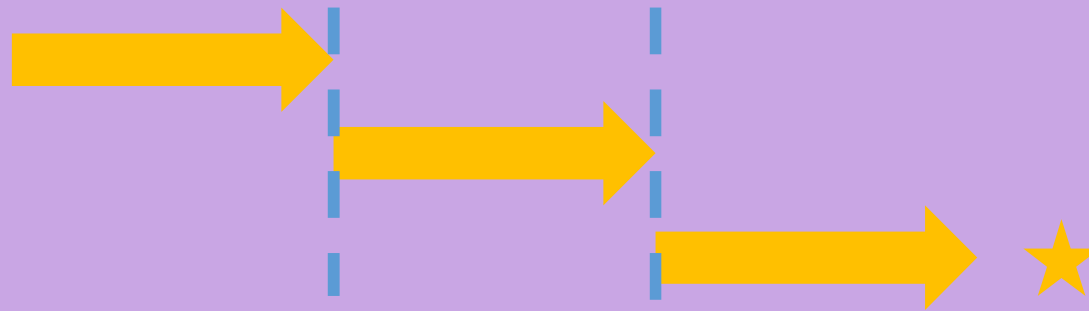


- ・ 各段階で作ったもの（アウトプット）に責任が発生（スケジュールの責任・内容の責任）
- ・ 工程管理のストレス（遅れて申し訳ない/企画が悪くて調整進まない...）

実施にこぎつけても、疲弊していく（疲れた、楽しくない、もういい）

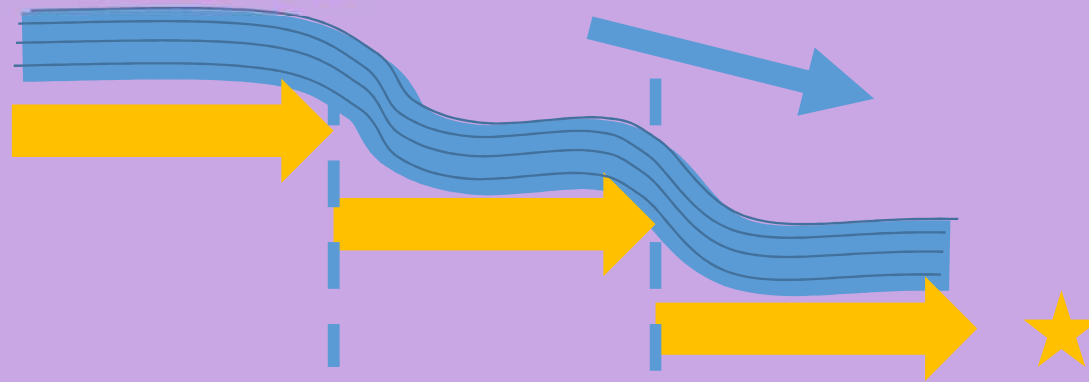
ほとほと作戦

アクションプランの進行管理



ほとほと作戦

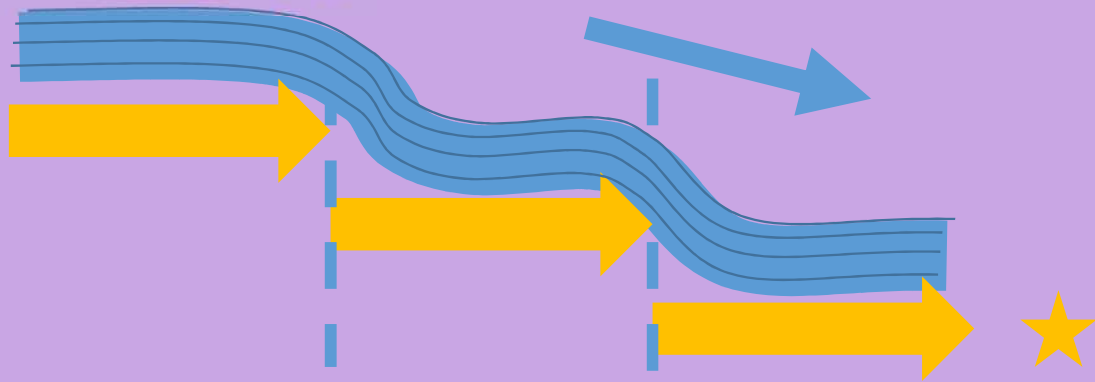
アクションプランの進行管理



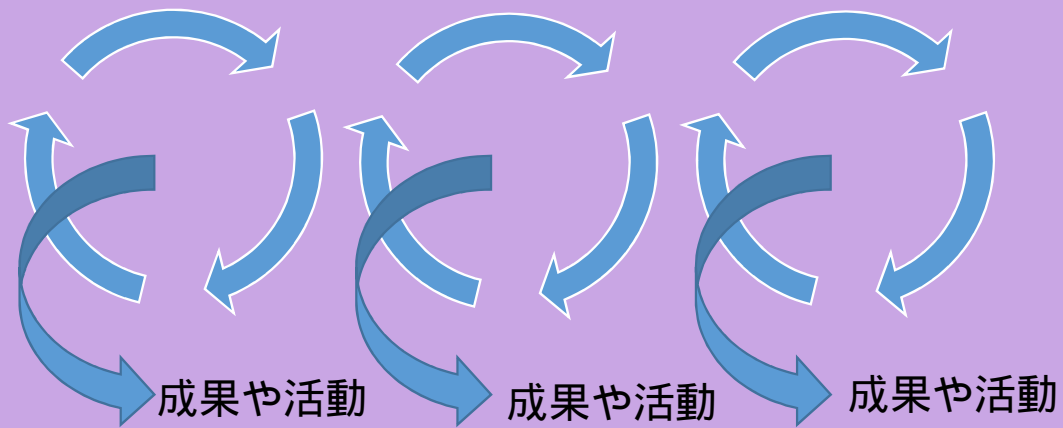
ウォーターフォール型 進行管理

ほぼほぼ作戦

アクションプランの進行管理



ウォーターフォール型 進行管理

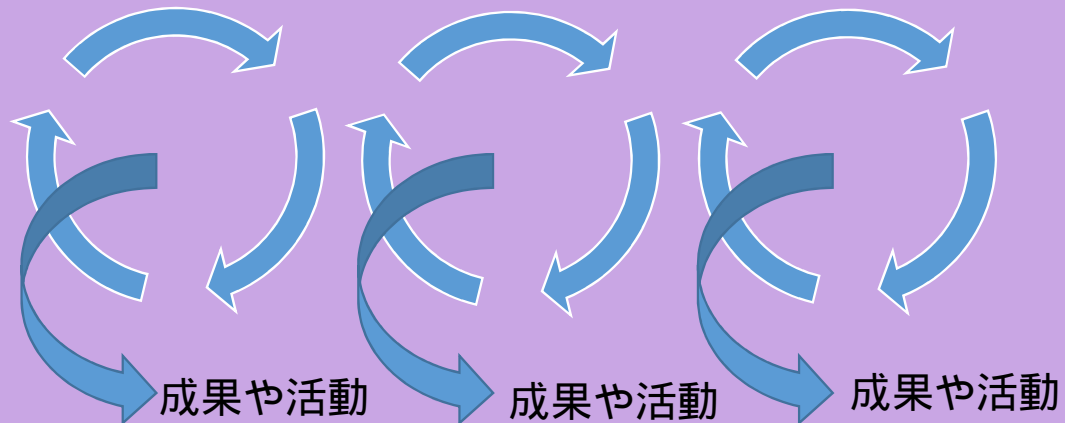


アジャイル型 進行管理

ほぼほぼ作戦

アクションプランの進行管理

アジャイル型 進行管理のイメージ

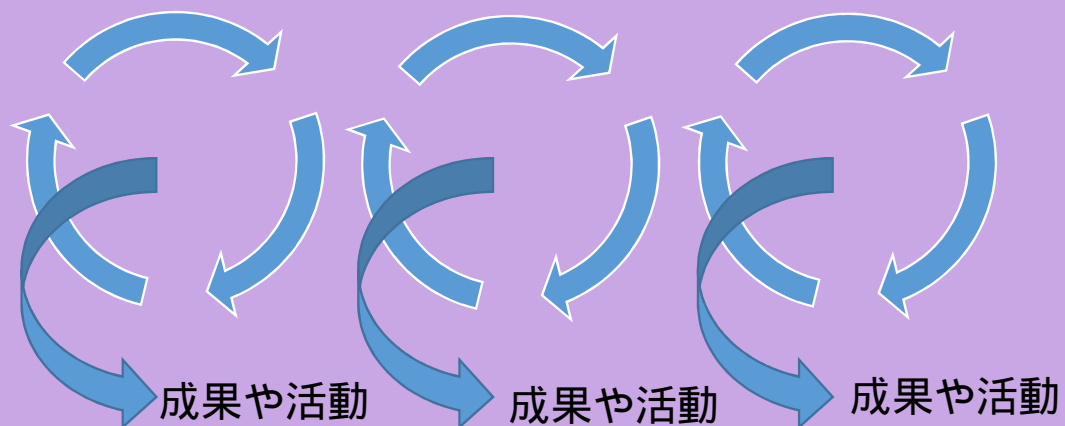


- おおまかに実施時期を決めたうえで、プロジェクト検討を始める
- 毎回（全体会の一部の時間を想定）、成果を作っていく
企画書をブラッシュアップしていく・できそうなことをやってみる
- できた成果はインターネット上で管理する「アクションプラン」に反映させていく
- 実施できる段階まで煮詰まったら、実施日などの詳細を詰めて実施する

ほとほと作戦

アクションプランの進行管理

アジャイル型 進行管理のイメージ



- ・具体的には令和6年（2024年）4月以降になると思いますが、皆様の意見を確認しながら、市側もアジャイル型の進行管理を念頭に、支援していく考えです